

No.143 2016 APRIL

平成28年4月19日発行



愛と復興

新庁舎

14億円減額提案認める … 2

農業振興予算の拡充 … 4

町の長期計画を審議 … 10

議会だより

只見

発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222

E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



餅つきヨイショ!(3月6日明和公民館まつり)

円減額提案認める

現設計の2度目の変更予算認めず

町当局の提案理由

入札が二度不落・不調になったが、今まで費やした経費を無駄にしないためにも現設計を再度精査したい。結果的に工事費の増額もあるかもしれないが、今後の方向性を見定める協議のたたき台としたい。

補正予算に賛成 (動議への反対討論)

5名…中野大徳、藤田力、佐藤孝義、石橋明日香、鈴木征

① 今までの積み上げを白紙に戻す話では、またお金と時間がかかりスピード感のあるやり方ではない。現設計変更で減らせるものは減らすやり方が一番早い。

② 昨年建設予算14億円を満場一致で可決した。早く造ってほしいという意見が多く、設計変更を認めて進むべきだ。

③ 現設計で難しいのは理解できる。時間の経過で単価も動く。精査して高くなるか、安くなるかを見定める設計変更予算を理解する。

補正予算に反対 (動議への賛成討論)

6名…山岸フミ子、新國秀一、小沼信孝、酒井右一、目黒仁也、大塚純一郎

① 二度の不落・不調となった現設計を更に精査・検証をおこなうこの補正予算は、14億円を超える設計となる可能性が高く住民理解が得られない。

② 三地区住民説明会の意見を深める必要がある。当初の14億にこだわるか、現設計にこだわるのか、その方針を協議決定してから予算措置すべきだ。

③ 住民説明会只見会場で「現設計ではどんな大手業者でも無理」という専門の方からの意見があった。設計を根本から見直さないと進まないことではないか。



動議への賛成多数で補正予算が**否決**

3月会議 補正予算

新庁舎 14億

平成28年度予算を審議する3月会議が、3月7日から16日の10日間行われ、一部修正並びに意見を付して町長提案の議案すべてを原案通り可決しました。

平成27年度補正予算審議において、町当局では役場新庁舎建設予算14億円を取り下げ、再設計委託予算を計上しましたが、審議の過程において、再設計委託予算を減額する修正動議が提出され、動議賛成者多数により減額となりました。ここでは、役場新庁舎建設のこれまでの経過について報告します。

役場新庁舎建設は、昨年6月から今年2月まで2回の入札がいずれも整わず、今年3月補正予算に既定の建設予算14億円の減額と再度設計を見直す1296万円の補正予算が提案されました。賛否議論の末、修正動議が提出され、賛成多数で修正動議が可決。更なる設計変更予算は否決されました。



予算決定後の経過

■平成27年3月…建設予算14億円議決



■平成27年6月…第一回入札不落(4.9億円の乖離)



(※議会だより140号参照)
〈設計変更業務〉(※議会だより141号参照)



■平成27年9月…議会より新庁舎に関する申し入れを提出



■平成28年2月…再入札執行(応札者なし)



■平成28年3月…当初建設予算14億円減額提案可決

〈減額理由〉

二度の入札不調を受けて、現設計では14億円以内での建設が不可能であることが濃厚となったため

■平成28年3月…再設計変更予算1296万円提案



農業振興予算拡充

予算特別委員会

質疑応答

町 税

8億7311万
5000円

問

大規模固定資産
税の減収額は？

答

大規模分が
1760万円。
電源開発株式会社が一
番多い。

職員研修 委託料

32万
4000円

問

事業の内容は？

答

初の試みであ
り、メンタル
チェックや人事評価
等、管理職の能力向上
を目指す。

公共施設等 案内板改修工事

2000万円

問

事業費は適正
か？

答

多言語化表記
に伴う工事で
あり、全部で46枚だ。



改修が予定される既存看板

地域おこし 協力隊報酬

784万
8000円

問

住まいは確保し
ているのか？

答

民間住宅を借り
上げる予定でい
る。

中心市街地 活性化事業 補助金

200万円

問

平成28年度の事
業内容は？

答

商工会からの報
告を受け、町が
主体的に今後進める。
議会に説明できる計画
を平成28年度中にまと
める。

社会福祉協 議会補助金

1453万
3000円

問

支出内容は？

答

会長報酬、局長
給与、臨時職員
2名分の人件費、自動
車維持費を町が支援し
ている。他は協議会の
負担。

除雪支援保険事業 除雪機整備 補助金

300万円

問

今までの補助台
数と条件は？

答

約30台で、要件
は最低3件の請
負が条件。追跡調査し
ている。

ふるさと館田子倉 内装改修工事

1250万円

問

全体事業予算
3000万円は
高額では？

答

土地・建物は町
が取得した。耐
震補強も必要となっ
た。モデル家屋として
良い評価を得ている。



現在の「ふるさと館田子倉」

年金生活者等支援 臨時福祉給付金

240万円

問

今までの福祉商
品券はなぜない
のか？

答

今年度は国が新
たに導入した制
度で対応したい。町の
財政を考えた対応だ。

出合いの場づくり 委託料

350万円

問

どうしたらよ
り効果のある
結果を出せると思
うか？

答

若者が住める
住宅対策を一
緒に考えることも重要
だ。

農業関係補助金 6104万1000円

問 大規模農家中心の補助制度では？

答 平成28年度新規事業として、小規模農家への支援事業も予算提案している。

水産業費 67万5000円

問 災害復旧もほぼ終わったが、河川の魚族拡大予算は？

答 平成28年度は支流の魚族調査をし、今後計画的に予算化を図っていく。

鳥獣被害対策 報酬90万円

問 高齢化により、駆除隊員の確保は可能か？

答 平成27年度は27名。平成28年度は30名分の予算を提案している。

観光二次交通補助金 885万円

問 観光客だけでなく、町民にとっても利便性の良いものにならないか？

答 課題として捉えているので、今後可能な限り柔軟な対応をしていきたい。

パソコンリース料 935万1000円

問 高額だが、毎年発生しているのか？

答 毎年発生する。セキュリティやメンテナンスを考えると適正な価格だ。

老朽危険空き家除却費補助金 300万円

問 前年度全く使われていない予算だが、制度に不備はないのか？

答 周知徹底し、今後使える制度にしていく。

プレミアム商品券発行事業補助金 1700万円

問 どのような内容か？

答 従来通り、20%のプレミアム付き商品券だ。

問 本人確認により配布しているとのことだが、直接取引所に行けない高齢者等の対応は？

答 発行は、その都度改善して対応している。次年度に向けては、公平性を考慮した改善を図りたい。

公共施設等総合管理計画策定業務委託料 650万円

問 土地利用を含めた公共施設の配置計画が今後必要と思うが、どのような内容か？

答 公共施設を計画的に管理運営するための業務委託だ。

看護職員出向負担金 1032万6000円

問 4ヶ月交替では、あまりにも短かすぎる。期間の延長はできないのか？

答 期間延長できないが、期間が延びると中央病院でのスキルアップの機会を奪ってしまうと言われる。

地域づくりサロン事業補助金 85万円

問 町内27集落中、何集落が利用しているか？

答 現在は5集落だ。現在町内の被保険者数に対する介護認定率は21%だが、これを20%未満になるよう全集落に広めたい。

公会計システム導入委託料 200万円

問 朝日診療所会計に企業会計を導入し、経営感覚を持つべきでは？

答 現在、国保事業と国保施設の二つの特別会計に分かれているため、統合の問題がある。まずは、一般会計から導入する。

公衆トイレ清掃管理委託料 69万7000円

問 宮淵公衆トイレの本年度予算の積算根拠は？

答 本年は万代橋工事の関係で使用するできない期間があり、予算調整している。



小川地区での実施状況

平成28年度予算の審議について、予算特別委員会から下記の意見を付して、採択すべきものとなりました。

付した意見

●一般会計予算

(1)行政改革の推進について

現在の行政改革大綱による推進期間は**平成28年度が最終年次**となる。一層の推進に努め**財源の確保と職員の資質の向上に努められたい。**

(2)補助金の適正な執行について

前年度、事業の未執行等で予算減額された、**老朽危険空き家除却費補助金、地元産材活用支援事業補助金等**については、要綱等が住民の利便に合わないことも考えられる。**要綱等の見直しを含め有効な補助金の支出に努められたい。**

(3)超過勤務について

本年度予算において、**前年対比人件費総額は増加する等、改善が図られていない。年度途中の補正予算が無いよう厳しく管理職における労務管理を徹底**するとともに、今後、採用年齢にも充分考慮すべきである。

●国民健康保険施設特別会計予算について

(1)朝日診療所の運営について

長期の運営計画にもとづく、将来を見据えた新たな運営体制の在り方を検討されたい。

賛成討論

鈴木征議員

当初予算については、予算特別委員会で慎重審議し、一般会計については3件の意見を付して認めている。その内容で賛成する。

反対討論

山岸フミ子議員

只見町に安心して住み続けることは、共通の願いだ。
消費税増税、年金は目減りで町民の暮らしは大変だ。その中で、長年喜ばれてきた町独自の制度「福祉商品券」を当初予算から削ったことに強い怒りを覚える。毎年度、多額の不用額を出すような予算の立て方を見直すことが先決だ。きめ細かで、町民に寄り添った行政を進めていくとの言葉が反映されている予算とは思えないので、反対する。

一般会計当初予算討論

陳情 請願

審査結果

1 避難所施設整備に係る陳情書

〈陳情者〉 蒲生区長

〔審査結果〕 不採択

〔理由〕 町当局として避難所の明確な基準がないこと等から議会では判断しかねたが、協議・検討の結果、その基準を町に作るよう要望することが先と判断した。

2 認定外給水施設整備に対する支援と受益者負担金の軽減をお願いしたい件について

〈陳情者〉 塩ノ岐区長、坂田区長、布沢区長

〔審査結果〕 採択

〔理由〕 町水道が敷設されていない、特に高齢化が著しい小集落において、別枠でも支援措置拡充の検討は行つべきと判断した。

3 役場庁舎建設の構造計画変更を求める陳情書

〈陳情者〉 人口減社会を生きる只見町民の会

〔審査結果〕 不採択

〔理由〕 議会でも当初同様の考えを持っていたが、工事請負費が3月補正において全額減額されることから、再検討が必要となったため、不採択とした。

4 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

〈陳情者〉 日本労働組合総連合会福島県連合会南会津地区連合会

〔審査結果〕 採択

〔理由〕 本県の復興を促進させるために大変重要と判断した。

5 看護師・介護従事者不足解消のため、看護師等の労働環境改善で安全・安心の医療・介護を求める請願書

〈請願者〉 福島県医療労働組合連合会

〈紹介議員〉 山岸フミ子

〔審査結果〕 採択

〔理由〕 安全・安心の医療・介護には、従事者不足の解消と労働環境の改善が必要であり採択とした。



委員会調査状況（市沢地内）

なお、採択された意見書については関係機関に送付しました。詳細については、只見町議会ホームページで確認できます。

審議未了とした陳情

1 給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の陳情について

〈陳情者〉 日本労働組合総連合会福島県連合会南会津地区連合会

〔理由〕 本件は、3月会議において付託されたが、性急な結果を出さずに改選後の委員会において十分な審議を尽くすべきと判断した。

条例

あれこれ

基金が有効に活用されるようになりました

- ①うつくしい只見町の風景を守り育てる基金
- ②只見町高齢者等福祉基金

果実運用型基金

(※元金そのままで利息のみ使うことができるもの)



元金取り崩し型

(※基金の目的のために必要がある場合、元金を含めて使うことができるもの)

※この条例改正は、以前の決算特別委員会における議会の意見の一部で基金の有効活用を図れるよう、条例改正を促したことが実現したものです。



町内風景（残雪と桜）

農業委員及び農地 利用最適化推進委 員の定数に関する 条例

委員定数の 改正

農業委員会
現行18名
↓
11名

農地利用最適化
推進委員
法定上限 9名
↓
8名

問 民間給与との差をなくすためとあるが、これは県のデータであり、一定規模以上の企業を対象としたものと思う。町内の民間企業に勤める人で、役場職員より多い給与をもらっている人はほとんどいないのではないか。

答 町での調査はしていないが、厳しい現実だと認識している。

特別職である町長、教育長、議員の期末手当の引き上げには反対だ。当町の議員報酬は、近隣の市町村と比べ大変低いことは承知している。消費税、年金の目減りなどで町民は生活が大変と聞く。町民の暮らしを優先すべきであるため反対をする。

賛成討論
鈴木征議員
過去に只見町の議員報酬は引き下げた経過がある。結果として、松枝岐村議会の議員報酬より低い金額で今がある。改正したとしても他町村も今回同様に引き上げるので、只見町は低い金額のままとなるため引き上げは妥当である。

質疑応答

反対討論

(対象) 町長、教育長、議員、職員
【結果】 反対1、賛成10

県の人事院勧告により報酬等改正される

補正 予算

只見振興センター新築工事 只見産杉材利用決定 約1530万円

平成27年度一般会計補正予算は、事業確定による減額補正と、前年に続き国からの地方創生関連の「地方創生加速化交付金」が採択され、今後の只見町の観光交流推進事業になるであろうとの説明がありました。

只見産木材の利用促進を図るため、その第一弾として新たに建設が予定されている只見振興センターにおいて、町内産杉材を利用することになりました。



振興センター外観図



振興センター建設に利用予定の町内産木材

地方創生加速化交付金 8000 万円

【メニュー】

- ①ユネスコエコパークを拠点とした通年滞在交流型観光の整備
 - ネイチャートレイル（自然散策路）
 - 自然ガイドを兼ねた運動インストラクター
 - 森林・地形療法と運動療法を加味した「健康プログラム」
- ②健康スポーツによる交流環境整備と創業・就労機会に資する賑い創出
 - サッカー場の増設
 - 夏場のグラススキー
 - サンドバレー（福島県の海岸は不適）
- ③町づくり会社の設立による観光振興に関わる機能・拠点再編整備
 - 地域資源を発想豊かに分かりやすく、企画・商品化できる人材招聘・育成
 - 創業・法人化への支援と新たな雇用創出の連鎖
 - 観光産業振興の一元化（運営責任主体を明確にする）
 - 観光コンテンツの魅力を高める
 - 交流人口の増加、まちづくり会社の設立に伴う雇用の確保
 - 新潟県三条市、魚沼市、柏市との経済連携

年金生活者等 支援臨時福祉給付金

2610万円

65歳以上の年金生活者に国から3万円給付されます（※条件付き）

<制度の趣旨>

- 「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引き上げの恩恵が及びにくい所得の少ない高齢者の方への支援
- 高齢者世帯の所得全体の底上げ
- 平成28年前半の個人消費の下支え

質疑応答

問 今後10年間のコンパクトシティの考え方は？

答 大きな集落だけを残し、支流域の小集落は切り捨てていく形では決してなく、集落は維持しつつ中央に集中できる機能は集中させていくものだ。

問 障がい者福祉についてどのような考えか？

答 家族以外の支援のあり方が益々重要になってきている。障がい者の方々にとって何が必要なのかを出発点にして、必要な仕組みやサービスを立ち上げていきたい。

問 今後の人口減少は必至だが、市

町村合併は今後しないしていくのか？

答 行政合併よりも地域の産業面で連携を図っていく。

問 豪雨災害後の観光入込客数の増加は、災害復旧の工事関係者によるものだ。観光客が増えているという認識で計画を立てるのはおかしいのでは？

答 観光客がきちんと増えていくよう図っていく。総合戦略の作成にあたっては、KPI（重要業績評価指標）という「現状値」と「目標値」を書くことが条件だ。現状値は平成25年度の観光入込客数

（22万1426人）を使っており、平成31年までに年間30万人にしていくことを目標値とした。平成24年に観光客が増加に転じたと単純に言えないことは認識している。

問 将来人口の目標を、平成52年に3000人を目指すとしているが、あまりに消極的過ぎる目標ではないか？

答 期待値が大きすぎると、非現実的になる。現状のままでは人口予想値は2660人まで減る予定だが、もう少し頑張って3000人としたものだ。

問 只見高校の存続対策で、特色のあるコース等の創設を短期計画でできないか？

答 意欲はあり、事業の着手は短期にできるが、現実には時間がかかり、課題の整理が必要だ。

問 人口が減っていく中でいかに住民の理解を得て事業を進めていくのが大事だが？

答 合意形成の図り方が、より大事な時代だ。様々な意見をあらゆる面から議論・検討をし尽くし、納得感を得ることが大切だ。

問 町内企業も住宅の確保が課題だ。企業と町が協力して住宅をつくっていく考えは？

答 そういう連携は一つの手法と思う。振興計画ではつきりと打ち出すことは考えていないが、町内企業の人材育成と企業の

存続においても大事だ。

問 只見に植生している杉が目的もなく放置されている。CLT（＝Cross Laminated Timber）活用はできないか？

答 地元産材の利活用面でCLTをどう考えるかだ。世の中で普及するにつれて、町内産木材の利活用は増えていくことが期待できる。



CLTの特長

高断熱

遮音性

耐火性

環境に優しい

短工期

軽量

第7次振興計画策定

町の長期

町当局より、平成28年度から10年間の長期計画となる「第7次只見町振興計画」本計画は、3月会議において、議案提案され、可決しました。ここでは、2月19日と

問

人口減少は仕方がないという前提で計画が立てられている。只見高校が存続の限界定数を死守するために生徒獲得を必死に頑張っているように、町も一定数以上は人口が減らないよう必死の政策を考えていくことが大事では？人口減少を当然のこととせず、人口を維持するんだと決めて、それを目標の大上段に掲げて、初めて個々がバラバラの事業の集積ではなく、全体が一つに繋がった政策が自ずと決まっていくのではないか？

答

計画づくり以上に、一つ一つ実行していくことが大事。進めていく上での合意形成が大切であり、それができないと絵に描いた餅になる。専門部会の方々が意見や夢を出し合って議論

を重ねてできたものだ。気持ちは同じなので、ご意見はしっかりと受け止める。

問

教員住宅を含め、住宅があらゆる面で足りていないためにすべての政策がうまくいかない状態になつていないか？振興計画を計画通り進めていくためにも、住宅政策は欠かせないので

答

教員住宅に限らず、町づくりの政策として住宅全体が不足している。今後も目的に応じた住宅の建設を進めていきたい。

問

ユネスコエコパークが10年後の更新の際に再度登録されるような事業計画になっているのか？

答

10年間の行動計画を振興計画の中で3つの目標として

掲げている。最終的には地域の持続可能な社会経済の発展が達成されていることを目標とした計画だ。これが達成されないと再認定が危うくなるので、頑張つて達成していきたい。

問

最優先課題は若者定住対策

答

と思うが、その優先課題が見えない。認識は同様だ。そのようにまとめたつもりだ。

問

I・Uターンによる人口増加対策の具体的施策は？

答

「町づくり会社」の設立が、それに該当する。

問

今までの延長線での計画のように感じる。夢がほしい。

答

只見を担う人材育成を最大限の目標として、夢のある具体的施策を進めていく。

問

観光交流施策に外国人誘客を重点項目として加えるべきでは？

答

奥会津五町村活性化協議会との連携も含め、平成28年度より具体的に取り組む。

問

今後の10年において、何が中心施策なのか？

答

振興計画に掲げたものを実施計画に落とし込み、目標達成に向けていく。プライド・理想・夢が感じられる地域社会を目指してスタートしたい。



町の将来を支える子どもたち

委員会リポート

蒲生区の避難所施設整備

町として避難所の明確な基準が現在存在しないため、これを示すよう働きかけていきます。



蒲生区住民の避難場所である蒲生公民館

避難所の明確な基準を!!

役場庁舎建設計画

町当局に対し議会の総意として提出した「申し入れ」の尊重が図られるよう、今後も十分な意見交換を重ねながら、町民合意の得られる庁舎建設を進めてもらえるよう働きかけていきます。

議会の総意としての「申し入れ」の尊重を!!

●総務厚生常任委員会

JR 只見線全線復旧

鉄道軌道整備法の改正・成立が、J R只見線全線復旧に向けての大きな後押しになることから、今後も町当局との連携のもと、引き続き要望活動等を行っていきます。



小熊慎司代議士に只見線復旧要望を行う様子

シルバー人材センターの設立に向けて!!

高齢化の進む中、高齢者の社会参加や生き甲斐・活動は大変重要であることから、当町における「シルバー人材センター」の設立運営について、継続して働きかけていきます。



シルバー人材センター先進地の活動状況

課題は、人材確保と住宅対策

町内誘致企業視察



会津工場視察

厳しい社会情勢の中、委員会では、町内誘致企業3社（会津工場・ティーエヌアイ工業・スミタフオトニクス）に出向き情報交換をしました。

会津工場では、ものづくり都市新潟三条市との連携、その他企業では、新たな事業部門の検討など積極経営が行われています。

課題は人材の確保、遠方からの技術者の住宅対策が共通課題として上がりました。委員会としても今後情報収集を行いながら、雇用確保と支援に努めていく報告を3月会議で行いました。



スミタフオトニクス視察



ティーエヌアイ工業視察

奥会津五町村議会議長連絡協議会

奥会津地域五町村（柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町）議会議長で構成される連絡協議会定期総会が、1月7日に柳津町において開催されました。

本協議会は、平成23年の新潟・福島豪雨災害により被災したJR只見線の全線再開通を

目指して、沿線町村で連携協力するものです。

今回の定期総会においては、平成25年設立以来会長を務められた只見町議会議長から金山町議会議長に改選され、来年度の広域連携事業等について審議されました。



1月7日総会開催状況

議会活動 レポート

齋藤邦夫議員

全国町村議会議長会 自治功労者表彰を受賞



齋藤邦夫議員

2月5日開催の全国町村議会議長会定期総会において、齋藤邦夫

議員が町村議会議員として15年以上在職した功労により表彰されました。

2月24日開催の福島県町村議会議長会定期総会において、県町村議会議長会長から表彰状が伝達されました。

議会を傍聴しませんか ～あなたの意見が議会を変える～

議会活動や議会だより等に関してご意見のある方は、電話・手紙・メール（gikai@town.tadami.lg.jp）でお寄せ下さい。直接意見を伝えたいという方は、議員と事務局が伺いますので、ご連絡ください。

議会中継がインターネットでもご覧になれます

只見町議会は、動画共有サービス「Ustream」・「YouTube」を利用し、議会のライブ中継、録画配信を行っています。只見町議会のホームページで、いつでも、どこからでも見ることができます。「只見町議会」で検索してご覧ください。

議会とまちづくりについて意見交換しませんか

町内のあらゆる団体や集まり等で、ご希望の日時と場所をお申込みいただければ、議会が赴いて意見交換を行います。町民の皆さんの積極的なお申し込みをお待ちしております。

3月会議一般質問

この町を想い、町政を問う。 全議員が登壇



■ 大塚純一郎 16

- ・シルバー人材センター早期設立を
- ・議会意思を受けた役場庁舎建設対応は

■ 小沼 信孝 17

- ・町内交通をどう考えるのか
- ・まもなく5年になる豪雨災害の現状は

■ 藤田 力 18

- ・町営住宅に車庫を建設すべき
- ・浅雪の今年、豪雨災害が心配

■ 目黒 仁也 19

- ・新庁舎、民意汲まない執行姿勢が原因
- ・新庁舎建設以前の職員の安全対策を

■ 新國 秀一 20

- ・役場庁舎建設を見直す考えは
- ・只見川の堆砂対策の計画は

■ 佐藤 孝義 21

- ・集落交付金を拡大しないのか

■ 鈴木 征 22

- ・朝日財産区の今後のあり方は
- ・所得制限のない町営住宅整備を

■ 石橋明日香 23

- ・10年で町が劇的に変わる政策は
- ・エネルギー代を安くする政策は

■ 山岸フミ子 24

- ・検診の検査内容の拡充を

■ 中野 大徳 25

- ・役場庁舎建設の今後の対応は

■ 酒井 右一 26

- ・豪雨裁判の弁護士契約は無効では

※ 1 議員 1 ページの割り当てとなっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。詳しい内容については、議会ホームページの議会中継から[バックナンバーにて中継動画を掲載](#)しておりますので、ご覧ください。

おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員



シルバー人材センター 早期設立を

答 今年度中は断念せざるを得ない

問 「シルバー人材センター」の設立計画はどこまで進んでいるのか。
 答 昨年の6月会議から指摘しているが具体的な姿が見えてこない。町長が本当にやる気があるのか疑問に思う。

答 社会福祉協議会が主体となり設立準備を進めてきたが、今年度中の設立は断念せざるを得ない。今後は単独組織の設立も視野に入れた調査研究を進める。



シルバー人材センター先進地の視察状況

問 今の社会福祉協議会が主体の体制で現実的に対応するのは無理がある。町として設立準備室などのプロジェクトチームを組織して取り組むつもりはないか。

答 町として引き続き、粘り強く支援を継続して行く。

議会意思を受けた 役場庁舎建設対応は

答 町民の声を聞き進めたい

問 町長提案の「設計変更による建設計画を進めていいかどうか」を全員協議会で賛否を確認した。結果は「3対7、欠席者1」の反対多数の議会意志が確認された。この結果に基づいた「新庁舎建設に関する申し入れ」を無視した町当局の対応を問う。

答 議会との十分な意思疎通を図れなかったことは、大変残念に思う。庁舎建設について住民説明会を3地区で開催した。多くの意見は議会との相互理解を図りながら、庁舎建設を推進して欲しいとの声だった。

問 今、一部の町民から聞こえてくるものに「今回の庁舎建設計画を進める上で、何かと反対している議会議員がいる。」といった間違った認識がある。また「その議員たちが建設業者に圧力をかけて今回の入札で応札できなくした。」

「議会だけ危険な役場庁舎から旧只見中学校にさっさと移転して職員や来訪者の安全を確保する事など全然考えていない。」と言うものだが、そのようなことはありえない。

議会は、平成22年4月に特別委員会を設置し、職員や来訪者の安全を確保するのを最優先に考えて、庁舎の暫定移転を議決した。当局も暫定移転を決定された。それを当局は方針転換し庁舎建設を進めてきた結果が今の状態だ。

答 議会、町民の声を聞きながら庁舎建設を進めていきたい。

※他に「町民の安心安全な生活の確保」について質問しました。

町内交通を

どう考えるのか

答 公共交通会議で検討したい

問 現在デマンドタクシーが運行されているが、今後土曜・日曜にも町内交通の足として運行することができないか。

答 今後交流人口の拡大を目指して、土曜・日曜も含めて誰でも利用できる町内交通対策を地域公共

交通会議で検討したいと考える。

問 地域公共交通会議というものが現在存在するのか。

答 国の機関を含めて設置する会議で、案を作り第7次振興計画の中で進めていきたい。

問 明和地区の買い物支援バスは非常に良い取り組みだと思いが内容をお聞きしたい。

答 平成26年7月より運行、26年度608名、27年度856名、一日あたり平均で18名程利用されている3年間の県補助事業だ。

問 3地区で行うべきではないか。

答 県とともに考えていきたい。

まもなく5年になる豪雨災害の現状は

答 概ね27年度で完了する予定だ

きたい。

問 朝日地区で豪雨災害の時、それ以前にも水路が氾濫して災害になる所があるが、国道の拡幅工事計画によって防災対策事業の工事が中断されているのはどういう事なのか。

答 26年度に設計予算を取り、間もなく設計はできるが、道路拡幅工事と同時並行で行いたいとの県の対応なので、28年度予算には工事予算として計上していない。

問 町民の生命財産を守る工事を優先するべきでないのか。

答 町内の事情を聴いて国・県に要望していきたい。

問 只見地区にも再三聞き取りをしている。見落とした小災害等については引き続き対応しているのか。



現在町内運行中の「ゆん子タクシー」

答 冠水している地域があるが、豪雨災害後どのような対応がされたのか。豪雨災害で壊れたポンプを修繕した。

問 ポンプを修繕しただけでは安心して生活できる抜本的な対応になっていないのではないか。

答 只見川河川整備計画の中で改良できるように今後働きかけていきたい。

小沼信孝議員



藤 田

力 議 員



町営住宅に 車庫を建設すべき

答 前向きに検討する

問

住宅は、人口増や若者定住の大きなポイント。そこで町営住宅について伺う。一昨年、只見原地区内に民間アパートを町営住宅として借り上げた。実績と、今後こうしたアパートを町は借り上げる計画はあるのか。

答

入居にかかる所得制限のない住宅として8戸を借り上げ、現在満室だ。現時点で同様の住宅建設の計画はない。

問

只見での生活に車は必需品だ。117戸ある町営住宅で「車庫のない住宅」は何戸あるのか。また、近くに有料賃貸として建設する考えはないか。

答

117戸のうち91戸に車庫はない。これは建設当時、戸数整備に主眼をおかれたためだ。積雪もあるので建設用地の調整を含め、入居者の住環境の向上につながるよう前向きに検討する。

問

委員会で町内の誘致企業を三社訪問した際、三社とも技術者の長期滞在や就職希望者の当面の宿舎として住宅確保に苦労している。希望する企業に援助して企業主体で建設する考えはないか。

答

多くの雇用を担っており、人材確保や雇用拡大の面

からも住宅整備の必要性を認識している。商工振興策として企業と連携を図りながら整備を検討する。

問

町内の杉が、使い道がなくて困っている。今後、町

答

以前はコンクリート造りが主流だったが、木の良さを活かした建築物も

浅雪の今年、 豪雨災害が心配

答 関係町村と早期整備を要望

問

浅雪だった今年、先の豪雨災害で浸水被害の多かった只見沖下地区内では、豪雨災害の再来を心配する声が多く聞かれる。今から県只見川河川整備計画に申し入れをして早急な取り組み・着工を強く要望すべきと思うがどうか。

答

昨年、関係町村と「一級河川只見川河川整備促進期成

同盟会」を立ち上げた。今後、国の関係機関に安全安心な早期整備を要望していく。



川が土砂でいっぱいです「只見川と伊南川の合流点」

新庁舎、民意汲まない 執行姿勢が原因

答 理解し、反省点はある

問 議会は、第一回
目の入札不落

後、新庁舎に関する申し入れをし、その中には「現実的に前に進める協議を議会と進めてほしい」という項目もあった。また、住民からの意見が様々あるので、ここは一旦立ち止まってほしいと要望も

答

第一回の不落の段階で次の入札

した。しかし一切耳を傾けてもらえる姿勢ではなかった。このような一連の住民の声に耳を傾けない行政執行の姿勢がここに至った原因だ。その様な反省は今お持ちになっているか。

の準備を優先に考えた。住民の意見もあったが、いち早く進めてほしいというのが大方の民意と思っていた。結果は二度の不落、意味合いは分かっている。そういったところの反省点はある。



目黒 仁也 議員

新庁舎建設以前の 職員の安全対策を

答 新庁舎による防災拠点整備が優先

問

庁舎建設は、現実いつ頃を想定しているのか、

答

当初28年秋目途だった。概ね一年程度の遅れと考えている。

問

28年度は、只見振興センター、



住民説明会の様子（明和振興センター）

問

むしろ、ここに至れば職員の安全対策が優先で結論を出すべきではないか。

答

現時点では暫定移転の適地は見当たらない。システム移転等の経費増もある。安心安全な庁舎を求めるのが早道だ。

問

28年度早々、まず職員員の安全対策の結論を出す。そして、住民の声や財政、地域づくりの様々な視点から新庁舎を早急に求めるための向き合った議論を進めていくべきだ。

答

意見は受け止めた。そういうことを踏まえて今後議論していくことが大切だと思っている。

答

町としては防災拠点をいち早く整備する。駅前を中心市街地計画、県道の改良と合わせて優先という判断で進めている。

新^に國^{くに}秀^{ひで}一^{いち}議 員



役場庁舎建設を 見直す考えは

答 今までの設計を踏襲するのが
一番の近道

問

庁舎建設が二度
目も不調に終
わった件について、私
は町が丸投げした設計
業者の能力不足と、間
に入った業者が仕事を
しなかったのではない
かと思っています。設計
業者と入札業者の見積
りが5億も違うことが
あり得るのか。

答

それぞれに役割
を果たしていた
だいて、と認識して
おり、一日も早い庁舎
建設を進めることが町
の責任と考えている。

問

入札業者の意
見として、今の
設計ではできないとい
う意見があったと聞く
が本当か。

答

先日の住民説
明会の際、その
ような趣旨の話はあつ
た。

問

ゼネコンも受
注できない。町
内業者も受注できな
い。つまり、現在の設
計では入札が成立しな
いということを発言さ
れている。一日も早い
建設を目指すならば、
設計・工法を見直さな
いと無理ではないかと
考える。私はもう一度、
時期や市場調査から設
計まで見直すべきだと思
うが、いかがか。

答

基本的には、今
までの設計を
踏襲して進めさせてい
ただくのが一番近いと
考えている。

只見川の 堆砂対策の計画は

答 管理者である県にしっかりと伝える

問

只見川河川整
備計画につい
て、合流点から八木沢
まで大量の砂利堆砂が
ある。この処理計画を

答

町ではどう考えている
か。
住民訴訟の中
で、県が管理し
ている土砂が堆砂の原



只見川と伊南川の合流点

問

因とされているので、
答弁は差し控えさせて
いただきたい。
町長、これだけ
でも県にやつて
くれと言っていただけ
ないか。

答

今後まだまだ
話し合いの場も
あるうかと思うので、
ぜひ県にしっかりと伝
えていきたい。

※他に「町の住宅政
策」について質問しま
した。

集落交付金を

拡大しないのか

答 地域づくり交付金等も含め今後検討

問 集落維持管理の観点から、現在の20万円の枠以外に集

落内の水路補修や町道の舗装等のインフラ整備に使える枠を設けていただきたい。

答 農業用水路などの軽微な補修に

ついては、農業・農村の持つ多面的機能の発

揮を支援するための日

本型直接支払交付金制度（多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金）を活用

いただきたい。また集落により行う農業用施設の新設・改良・補修等に要する工事費が10万円以上の事業に対しては、一般的の集落

で70%以内、旧辺地集

落及び30戸以内の小集落にあつては、80%以内と28年度から補助率拡充しているので活用

町道舗装等の整備については、町内業者に発注し、安全・快適な通行確保に努めているが、路線も多く限られた財源を有効活用するためにも、ご理解いただきたい。

問 金額と制度などで使い勝手

が悪いので200万から500万程度（資材等現物支給でもよい）の枠でインフラ整備に特化した交付金を考えてもらいたい。

答

従来あった中山間事業がなく

しい。制度上使い勝手の悪い、多面的機能支払交付金については、他の町村からも出ているので、一緒になって国・県に今後は要望したい。

問

高齢化の進む中、集落交付金のあり方等をぜひ検討願いたい。

答

大事なことで、考えるので、地域づくり交付金等と合わせて今後検討していきたい。



佐藤孝義議員



集落共同作業の状況

鈴木

征 議 員



朝日財産区の 今後のあり方は

答 地域振興に繋がる
協議を進めたい

答 朝日財産区から
12集落への土地
貸付契約は、平成33年
12月19日までの期間で
締結している。このう
ち電源開発株式会社と
の送電線下に係る土地
契約についても、平成
5年から3年更新で賃
借料3年分を朝日財産
区特別会計の歳入とし

問 朝日財産区内で
契約内容に納得
していない集落がある
と聞く。対象集落の納
得を得られる協議を町
では行ってきたのか。

ている。歳出としては、
関係する2集落に交付
金として賃借料の2分
の1の金額を計上して
おり、平成28年度は契
約の更新並びに賃借料
の支払いの年である。
過去に、その取扱いに
ついて関係者間での協
議により折半とした政
治判断をしている。こ
の経過を重く受け止め
て、電源開発と朝日財
産区管理会において協
議を行い、一定のご理
解を得て進めている。
問 町村合併から56
年以上経過した
現在において、朝日財
産区の今後の運営を町
ではどう考えているの
か。

答 財産区がある実
態を不具合な状
況と認識している。
朝日財産区が、地域
の活性化なり地域振興
に繋がる活動をするこ
とが望まれる形だろう
と思っている。今後の

考え方としては、今述
べた視点から財産区と
話し合いをする環境づ
くりが求められている
と考えている。

所得制限のない 町営住宅整備を

答 人口増のため住環境の整備に努める

問 町営住宅にお
いて、所得制限
超過により他町村に人
口が流失する例が見ら
れる。人口減となれば
税収は減少する。町営
住宅に人口が増える運
用について町長の考え
をお聞きたい。

答 町営住宅は公
営住宅法に基
づき建設されており、
入居者の要件も一定未
満の方を対象としてい
る。入居中に一定以上
の所得となった場合
は、認定された方に対
し制度の説明と併せ、
必要に応じて住み替え
可能な住宅の紹介を
行っている。
町営住宅が人口増加
につながる活用を検討
するとともに、空き家
の有効活用も視野に入
れた住環境の整備に努
めていく。



黒谷地区にある公営住宅の現状

10年で町が

劇的に変わる政策は

答「只見らしさ」で頑張る

問

町が今後10年で劇的に変わり得る政策として何を計画しているか。

答

第七次振興計画で「只見らしさ」をキーワードにした10年後の只見町の将来像を掲げた。そのビジョンをもって強い意志と決意のもとで町づくり

を推進していく。

本町は世界にも誇れるユネスコエコパークに認定されたので、これを核とした「人と自然共生をテーマとした通年滞在交流型観光コンテンツの開発」を進めていきたい。国道289号八十里越の開通も控え、新潟

問

県三条市を含めた新潟県中央地域の医療やものづくりなどの連携も視野に入れ、各施設の展開を図っていく。

第七次振興計画は短期的な事業計画ばかりで中長期的な計画がほとんど見当たらない。良くも悪くも現実的に目の前

答

町をあげて作っていく必要があると思うが。

劇的な変化をもたらすような政策は正直ないかもしれないが、ユネスコエコパークや八十里越開通を通して観光振興して

問

それでは只見町は観光で食べていく町、観光を一大産業にしていこう、ということではないか。

答

観光だけでなく、只見らしさを生かした産業の六次化や農業振興を頑張りたい。

エネルギー代を安くする政策は

答 関係機関に働きかけていく

問

今後の町おこしに欠かせないエネルギー政策のあり方について、電源開発との関係も含めどのような予定か。

答

残念ながら今の国の法に基づく枠組みの中では、電源開発は電気を消費者に供給する会社ではない。

問

できない理由を聞いているのではない。国や企業の動きを待つのではなく、夢を持ってそのために町として何をしていくのかを聞いている。

答

何も話をしていないわけではない。国の電力システム改革の動向を見極めながら、地域で作った電気が地域で利用できるよう関係機関に働きかけていく。



田子倉ダム

いしはしあすか
石橋明日香議員



やまぎし ふみこ
山岸フミ子議員



検診の 検査内容の拡充を

答 町民の健康寿命延伸のため尽力する

問

心電図・眼底検査は、なぜ検診の検査からはずされたか理由を伺いたい。

答

平成20年から国の方針で医師が必要と認めた方だけ二次的に行う。

問

心電図・眼底検査は、医師の判断でわかるものや、検査で見えるものもある。自覚症状が現れた時は、重症化していることがある。最近心臓病で町外の医療機関に多くの町民が通院し

ている。この状況をどう認識しているか。また、この五年間で疾病別の統計などについているか。

答

疾患別統計調査はしていない。

問

心疾患の危険性が高いと判断されたハイリスクの方を対象に詳細検診として心電図・眼底検査を実施している。検査項目を減らしては、早期発見・早期治療とは言えない。重症化すれば経済的負担医療費の拡大になる。二つの検査を追加した場合、予算額はどのくらいになるか。

答

年間250万円となる。

問

シルバー人材センターの設立は大切であり、活力ある地域づくりの基本となるとの答弁があつたが、その人たちの健

康が大切である。二つの健診の追加は町独自の施策で可能か。

答

可能だ。

問

振興計画で検診を支援するため、健診の充実をする

答

医師をはじめとした保険関係者の意見を伺いながら、

とある。早期に実効性のある施策として取り組むべき。町長の判断でできると思うかどうか。

町民の方の健康寿命延伸を図り尽力する。



朝日診療所での診察状況

役場庁舎建設の 今後の対応は

答 早期に安全な庁舎を建設したい

問 役場庁舎は最初
不落、二度目は

不調となった。町当局
と議会は、この原因を
精査し、町の表玄関と
なる地域であることや
諸事情を考えると、速
やかな対応が必要であ
る。町当局の考えを伺
う。

答 昨年6月に執行
し不落となった

大きな要因は、鉄骨工
事費の価格かい離と冬
期間工事の考え方だっ
た。そういった部分を
解消すべく設計の一部
見直しを行い、一月に
入札を行ったが、残念
ながら参加申請がなく
不調となった。速やか

な対応が必要と認識し
ている。

今後できるだけ早期
に安全な庁舎を建設す
るという方針に変わり
はない。積算の見直し
や設計変更が必要と
なっているので、理解

を得て推進していきた
い。予算措置について
は3月会議に補正予算
として庁舎新築工事項
係予算を一旦減額し、
変更設計に係る予算を
お願いしている。設計
変更が完了次第、予算
の議決をお願いした
い。

問 庁舎建設は、中
心市街地の活性

化、只見線の再開通運
動等、様々に連携して
いると考える。現時点

において庁舎建設を速
やかに進めるための最
良の方法をどう考えて
いるのか。

答 現在まで5
年の歳月と

1億1千万円の経費を
かけ、公開による設計
業者のプロポーザル審
査やワークショップ等
の様々な場面で町民に
関わっていただいた現
設計だ。この設計を基
本としての設計見直し
を行うことが、期間的

にも財政的にも有利に
庁舎建設に至ることが
できると考える。

問 財政について危
惧されている意

見もあるが、見通しは。

答 庁舎建設費用に
ついては、公共

施設等再生整備基金等
に積み立てを行い、そ
の財源確保に努めてき
た。

問 町当局と議会は
車の両輪によく

例えられる。歯車をか
み合わせ推進すべきと
思う。

答 時間と丁寧さに
欠けていた感も

あるが、全員協議会と
いう会議の中で単に賛
成と反対の数ではな
く、建設的な議論がほ
しかったとも感じてい
る。その他公共建設と
合わせ、また皆さんと
しっかりと議論してい
きたいと考えているの
で、ご理解願いたい。



なかの
大徳議員



現在の役場庁舎

酒井 右一 議員



豪雨裁判の 弁護士契約は無効では

答 契約弁護士と相談し対応する

問

平成27年4月21日に町長が弁護士と交わした裁判の委任契約書によると、弁護士費用の支払いは総額200万円を限度とし、27年度以降も「一年ごとに50万円を支払う」とされ、四年間にまたがり支出されるということが明記されている。

一方、27年度予算議決では今年度の支払いのみを認めている。後年度負担を伴う支払いを認めていない。また、

答

予算の翌年度繰り越しや単

年度主義、財務関係法や運用についてはその通りだ。この契約は、年度の初めに弁護士と相談したところ「裁判は27年度で解決する見通し」という意見のもとに作った。この裁判が翌年度以降に繰り越すと思わなかった。契約書は年度当初に弁護士と相談して作ったもの

町長は「未払い分を翌年度に繰り越して支払う手続きをしたと答弁したが、予算議決当時、そうしたことができる『手続きや議決』をしていない。費用を支払うことができない契約に基づく弁護士との委任契約は無効ではないか。原告も町民である。町からの支出は原告を含めた町民の血税である。真摯に答弁されたい。

であり、翌年度に予算を繰り越しても問題はないと思った。予算の話を深めても一般質問として馴染まないのではないか。

指摘があったように、契約書に都合の悪いところがあれば、町の顧問弁護士と相談し、契約書の内容を変えさせて頂きたい。

※他に「第7次振興計画の核心は何か」、「只見町の将来」について質問しました。



豪雨災害により落橋した万代橋の状況



ブナりん

教えて！議会のこと

Vol.7



アカショウちゃん



イワッペ

只見町キャラクター ©Tadami

会議の役割

議会にできること・できないことについて議会運営委員長に聞いてみます。



イワッペ ねえ、ねえ、議会について詳しく聞く前に「議会運営委員会」は、何をするとところなの？

議会運営委員長 議会運営を効率的に行うために設けられている委員会で、議会の日程や請願・陳情の取り扱いなどの協議をしたりする委員会だよ。



ブナりん 町政にとって議会の役割とはどんなことなの？

議会運営委員長 議会は「議決機関」と呼ばれ、町長や教育委員会などは「執行機関」と呼ばれているよ。両者はそれぞれ独立・対等の立場で、町政を担う「車の両輪」のような関係なんだ。相互に抑制と均衡(チェック・アンド・バランス)を図りながら、町民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりのための重要な役割があるんだよ。

アカショウちゃん 「議決機関」と「執行機関」についても教えてよ。

議会運営委員長 「議決機関」というのは、町政の中の予算や決算、政策や将来の方向性などを最終的に判断して議決する機関のことなんだよ。

「執行機関」というのは、予算や政策・条例などを考え、議会に提出して議決されたこ

とを進めていく、町長や教育委員会、町当局のことをいうんだよ。

ブナりん ということは、お互いによく話し合いをして合意形成を図って物事を進めてもらわないと、町が良くなならないね。

議会運営委員長 そうなんだ。ただ、町の大切な将来や方向性を決めないといけな割には、政策や予算を提案されてから議決するまでに十分な検討時間が与えられていないのが議会としての悩みなんだ。執行機関である町当局には、その点の改善を要求しているところだよ。

イワッペ 議会は今聞いた「議決」すること以外には何もできないの？

議会運営委員長 他にもできることがあるよ。議会では政策提言をして、少しでも安心・安全・住みよい町づくりの方法を考え、執行機関に提案することができるよ。



アカショウちゃん 「政策提言」というのはどういうこと？

議会運営委員長 町民から出されたいろんな意見を議会や委員会政策立案して、町政に反映させるように町に提案していくことなんだよ。

イワッペ じゃあ、今度僕たちも只見の自然環境について議会の人達に聞いてもらおうと！

只見町について



明和小学校 6 年

おお たけ ゆう ま
大竹 優真

ぼくが只見町で好きなところは、昔からその地区に残る伝統です。

ほくたちも小学校で梁取地区の伝統芸能の『梁取神楽』を学習発表会で披露しました。練習していくうちにこのような伝統は只見町の未来に必要なものだと感じていきました。この伝統を将来に残していくためには、次の世代にしっかりと引き継いでいった方がいいと思います。これからは、ほくたちの世代がこの伝統を残していくために努力していきたいです。

只見町のよいところ



明和小学校 6 年

ひらの ゆい な
平野 結菜

私が思う只見町のよいところは、只見の人の心がとてもあたたかいところです。

私が朝、「おはようございます。」とあいさつをすると只見町の人は、みんなとてもかがやいた笑顔で「おはよう。」と返してくれ、うれしい気持ちになります。明和小の見守り隊の人たちは、毎朝登校する時に私たちにあいさつをしてくれます。私はそのあいさつを聞くと『今日も一日がんばろう。』という気持ちになります。私は、そんな只見町で過ごせてよかったです。

町村議会広報コンクール 奨励賞受賞！

応募総数：全国262作品

「只見議会だより139号」が、第30回町村議会広報全国コンクールで「言語・文章部門奨励賞」を受賞しました。

議会だより発行には、これまで多くの町民の方々にご協力をいただきました。この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。



編集後記

当初から全国コンクールでの入賞を一つの目標に据え、議会の様子をできる限り分かり易く町民の皆様に伝えるために、議会だよりの抜本的改革を目指して、委員全員心一つに力を合わせて頑張つて参りました。

読者からの声もたくさん頂き、毎号改良に改良を重ねてきた結果、お蔭様で念願の入賞を果たすことができました。これそのものがゴールでは決してありませんが、一つの結果を出せたことを本当に嬉しく思います。

何よりも、町民の皆様にこれまでの変化を感じ取って頂け、これまでに以上に議会への理解が深まる一助となつていましたら幸いです。

(石橋明日香委員長)

（石橋明日香委員長）

発行責任者

議長 齋藤 邦夫

廣報廣聽常任委員會

委員長 石橋明日香

副委員長

委員

大塚純一郎

中野大徳

目黒 仁也